

記者会見町長コメント

(7/30 レベル3の発表から1ヶ月が経過して)

平成27年7月30日(木) 11時～
分庁舎第6・7会議室

6月30日に気象庁が噴火警戒レベル3を発表してから1ヶ月が経過しました。

レベル3への引上げのときには、大涌谷において箱根では観測史上初めて、噴火口や極わずかではありますが、火山灰の噴出も確認されるなど、火山活動が活発な状態となりました。

幸い今は、火山性の地震は減少しており、私としてはこのまま沈静化に向かうことを切に願うところであります。

レベル3の発表以降、35名の定住者を含む沢山の方々に警戒区域からの立ち退きをお願いするなど、大変なご苦勞やご不便をおかけしておりますので、この点に関しても町として適切な情報提供や、一時立入許可の手続きなどを引き続き行ってまいります。

また、温泉、水道、ロープウェイなどの供給或いは運輸施設に関しても、警戒区域内でのメンテナンスが行えないため、既に一部地域では温泉の供給がストップするなど観光業への影響が顕在化しているところでもあります。今後、噴火レベル引下げの際にスムーズな供給再開ができるよう、安全に十分注意したうえでの最低限の維持管理についても時機を見て検討して行かなければなりません。

また同時に、万が一火山活動が更に活発化した場合に備えた噴火レベル4や5での避難計画の策定に関しても、現在、急ピッチで策定作業を進めております。今後、地元自治会や観光関連団体への説明を行い、8月中には骨子案をお示ししたいと考えております。

次に観光関連でございます。

観光トップシーズンを迎えている中、町の基幹産業である観光業が先の見え

ない、大変厳しい状況にあります。緊急支援融資やセーフティネット 4 号の発動、雇用調整助成金の対象範囲の拡大など、国や県においては要望後すぐに、経済に対する下支えの支援を行っていただいております。

町といたしましても、火山活動に関する正確な情報を引き続き発信し、観光客の皆様が安心して来町できる体制づくりを図って参ります。

さて、明日 7 月 31 日からは、毎年恒例となっております芦ノ湖「湖水まつり」を皮切りに夏祭りウィークが始まります。

湯本でも遊歩道のライトアップや各種イベントが 9 月まで行われます。8 月 16 日には強羅の「大文字焼き」が開催され、その他にも仙石原の「すすきまつり」、「キャタピラーレディースゴルフトーナメント」など箱根全山でお祭りやイベントが変わる事無く続きます。

毎日のように、関東地方では猛暑日が続いておりますが、避暑地としての箱根もとても魅力的です。

観光における火山対策については、何よりも町民、そしてお越しいただくお客様の安全と安心を第一に取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、現在、多くの企業・団体から箱根に対する支援の輪が広がりを見せております。

一例をご紹介しますと、姉妹都市である北海道洞爺湖町が 9 月に 2 泊 3 日の箱根応援ツアーを予定して頂いております。

また、県庁をはじめとする県内各市町村では、職員や地域住民に対して、夏休みを利用しての箱根旅行を呼び掛けていただいております。この呼びかけは、近郊の市町への広がりを見せています。

さらには、箱根町とゆかりのある新潟県魚沼市や岩手県洋野町などからは、激励と共に義援金や見舞金が寄せられています。

このような支援は、事業者の皆さん、そして私たち行政にとっても大変心強いことですし、皆様のお気持ちには心より感謝しております。

こうした心温まる支援に応えるためにも、一日も早く火山活動が終息し、多くの観光客の皆さんをお迎えできる、活気ある箱根町の姿を取り戻すことを改めて心に誓い、引き続き適切な火山対応にあたってまいりたいと考えています。